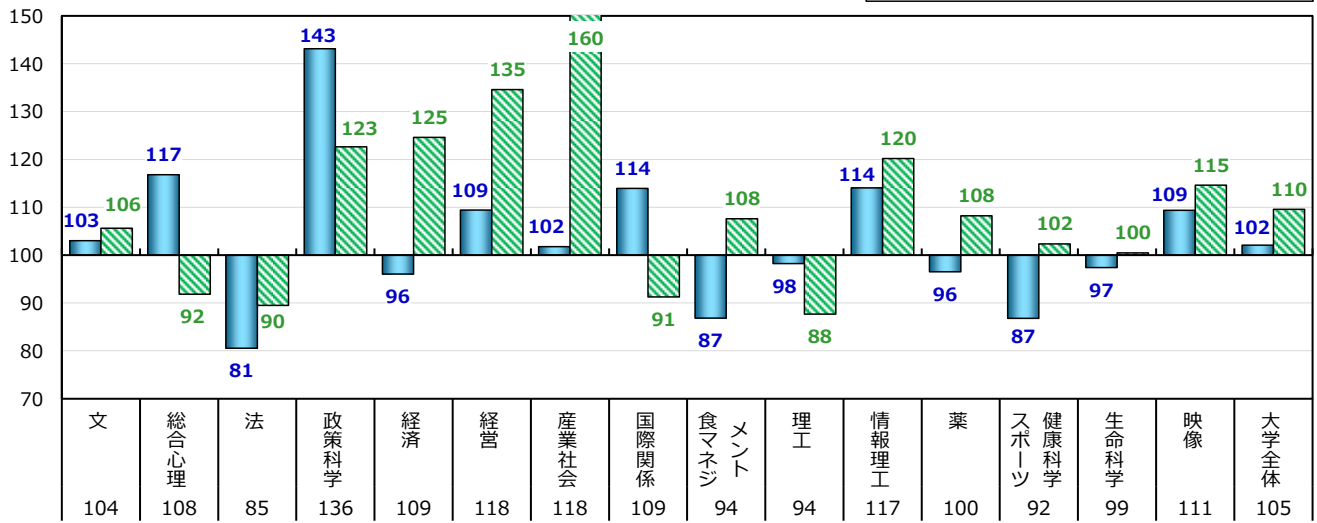


立命館大：大学全体ではやや増加で3年連続増加、目立った共テの増加 一般：+1,225人 共テ：+3,172人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

キャンパス移転：情報理工…びわこ・さつキャンパス(滋賀県草津市)→大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)
 映像(映像)…衣笠キャンパス(京都府京都市)→大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)

選抜方法：スポーツ健康科学(スポーツ健康科学)<共テ・3教科型>…新規実施
 映像(映像)<共テ・7科目型>…新規実施

方式名称変更：情報理工<共テ+面接グローバルコース方式>→<共テ+面接 ISSE 方式>
 募集人員：スポーツ健康科学(スポーツ健康科学)<全学統一(文系)>…100人→95人
<共テ・7科目型、5教科型、3教科型>…<共テ・7科目型、5教科型>あわせて20人→<共テ・7科目型、5教科型、3教科型>あわせて25人

映像(映像)<全学統一・文系>…53人→83人
<学部個別配点・文系型>…6人→15人
 <学部個別配点・理科1科目型>…7人→15人
 <共テ・7科目型、5教科型、3教科型>…<共テ・7科目型、5教科型>あわせて10人→<共テ・7科目型、5教科型、3教科型>あわせて15人

コース名称変更：情報理工(情報理工/先端社会デザイン)→(情報理工/社会システムデザイン)
 (情報理工/画像・音メディア)→(情報理工/メディア情報)
 (情報理工/情報システムグローバル)
 →(情報理工/Information Systems Science and Engineering Course)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、4,397人(105)のやや増加で3年連続増加。方式別では、一般方式は1,225人(102)の微増で2年連続前年度並、共通テスト利用方式は3,172人(110)の3年連続増加。学部別では、15学部中9学部が増加で、政策科学(136)、経営(118)、産業社会(118)、情報理工(117)が大幅増加。一方で、法(85)が大幅減少。

- <一般方式>**
- 文(103)**は、やや増加。学域別では、増減が4学域ずつに分かれた。(人文/国際文化)(127)は3年連続減少の反動で大幅増加、(人文/人間研究)(107)、(人文/日本文学研究)(103)はいずれも前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(人文/地域研究)(85)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(人文/東アジア研究)(90)は4年連続減少。
 - 総合心理(117)**は、大幅増加で3年連続増加。方式別では、全ての方式で大幅増加。特に実施2年目で周知が進んだ<理系型3教科>(132)の大幅増加が目立った。
 - 法(81)**は、2年連続増加の反動で大幅減少。方式別では、2方式いずれも大幅減少で、<全学統一・文系>(80)は2年連続増加の反動で大幅減少、<学部個別配点・文系型>(82)は大幅減少で3年連続減少。
 - 政策科学(143)**は、大幅増加で2年連続増加。方式別では、<全学統一・文系>(152)は大幅増加で2年連続増加、<学部個別配点・文系型>(136)は2年連続大幅増加。一方で、<後期分割>(96)はやや減少で2年連続減少。
 - 経済(96)**は、2年連続増加の反動は小さくやや減少。専攻別では、(経済/経済)(95)は2年連続増加の反動は小さくやや減少。一方で、(経済/国際)(101)は微増で3年連続増加。
 - 経営(109)**は、2年連続増加。学科別では、2学科共に増加。(国際経営)(121)は大幅増加で2年連続増加、(経営)(106)もやや増加だが2年連続増加で、志願者数は4年ぶりに5,000人を上回った。
 - 産業社会(102)**は、前年度並。専攻別では、5専攻中3専攻が増加し、(現代社会/スポーツ社会)(110)は前年度大幅減少の反動で増加、(現代社会/メディア社会)(107)、(現代社会/現代社会)(104)はいずれもやや増加。一方で、(現代社会/子ども社会)(75)は2年連続大幅減少、(現代社会/人間福祉)(89)は2年連続減少。
 - 国際関係(114)**は、前年度大幅減少の反動で増加。専攻別では、2専攻共に増加。(国際関係/グローバル・スタディーズ)(120)は大幅増加、(国際関係/国際関係)(113)は増加で、いずれも前年度大幅減少の反動。
 - 食マネジメント(87)**は、2年連続減少で志願者数は1,500人を下回り、2018年度新設以降最少。方式別では、<理系型3教科>

科>(118)は大幅増加。一方で、<学部個別配点・文系型>(76)は3年連続増加の反動で大幅減少、<全学統一・文系>(90)は減少。

- 理工(98)**は、微減で2年連続減少。学科・コース別では、9学科・コース別中で5学科・コースが減少。(数理科学/データサイエンス)(72)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(数理科学/数学)(81)は2年連続増加の反動で大幅減少、(ロボティクス)(88)は前年度大幅増加の反動で減少。一方で、(電子情報工)(115)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(電気電子工)(113)は前年度減少の反動で増加。
- 情報理工(114)**は、系統の高い人気に加えて、大阪いばらきキャンパスへの移転効果で、3年連続増加。
- 薬(96)**は、系統への人気の低下もあって、やや減少で2年連続減少。学科別では、(創薬科学)(101)は前年度減少の反動はなく前年度並。一方で、(薬)(94)は2年連続やや減少。
- スポーツ健康科学(87)**は、2年連続増加の反動で減少。方式別では、<理系型3教科>(110)は2年連続増加。一方で、<学部個別配点・文系型>(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、<全学統一・文系>(86)は募集人員の5人(5%)減少と2年連続増加の反動で減少。
- 生命科学(97)**は、2年連続増加の反動は小さくやや減少。学科別では、4学科中3学科が減少。(生命情報)(91)は2年連続増加の反動で減少、(応用化)(96)は2年連続増加の反動は小さくやや減少。一方で、(生命医科学)(107)はやや増加で3年連続増加。
- 映像(109)**は、募集人員48人(71%)の大幅増加と大阪いばらきキャンパスへの移転効果で2年連続増加。ただし、志願倍率は20.4倍→13.1倍にダウン。方式別では、2月募集の3方式はすべて増加。<学部個別配点・理科1科目型>(138)は募集人員の8人(114%)増加と2年連続減少の反動で大幅増加、<全学統一・文系>(110)は募集人員の30人(57%)増加もあり3年連続増加、<学部個別配点・文系型>(105)は募集人員の9人(150%)増加もあり、やや増加で2年連続増加。ただし、募集人員の増加率が高かったため、志願倍率は<学部個別配点・理科1科目型>が13.1倍→8.5倍、<全学統一・文系>が18.4倍→12.9倍、<学部個別配点・文系型>が36.2倍→15.1倍といずれも競争緩和。

<共通テスト利用方式>

- 文(106)**は、やや増加で、志願者数は4年ぶりに2,800人を上回った。学域別では、増減が4学域ずつに分かれた。(人文/国際文化)(128)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(人文/国際コミュニケーション)(122)は3年連続大幅増加、(人文/言語コミュニケーション)(111)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(人文/人間研究)(92)は2年連続減少。
- 総合心理(92)**は、2年連続大幅増加の反動で減少。志願者数は1,000人を下回った。
- 法(90)**は、前年度大幅増加の反動で減少。2月募集のみでは、(83)の大幅減少。
- 政策科学(123)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。2月募集のみでも、(120)の大幅減少。
- 経済(125)**は、大幅増加で2年連続増加。志願者数は4年ぶりに5,000人を上回った。専攻別では、(経済/国際)(148)は前年度激増に引き続き大幅増加、(経済/経済)(123)も大幅増加で3年連続増加。
- 経営(135)**は、2年連続大幅増加。学科別では、(国際経営)(148)、(経営)(132)はいずれも大幅増加。(経営)は2年連続増加で、志願者数は4年ぶりに3,800人を上回った。(国際経営)は3年連続増加。
- 産業社会(160)**は、3年連続減少の反動で大幅増加。専攻別では、5専攻全てが大幅増加。特に(現代社会/メディア社会)(169)は増加率が最も高く、志願者数が3年ぶりに800人を上回った。
- 国際関係(91)**は、(国際関係/国際関係)のみの募集。前年度大幅減少に引き続き減少で7年連続減少。
- 食マネジメント(108)**は、前年度大幅増加に引き続き増加。志願者数は5年ぶりに1,000人を上回った。
- 理工(88)**は、2年連続増加の反動で減少。学科・コース別では、9学科・コース別中で8学科・コースが減少。(数理科学/データサイエンス)(44)は前年度3.2倍以上の反動で半減以下、(ロボティクス)(62)、(機械工)(76)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(数理科学/数学)(67)も大幅減少で2年連続減少、(建築都市デザイン)(80)は2年連続増加の反動で大幅減少。一方で、(電気電子工)(161)は大幅増加。志願者数は3年連続増加で1,300人を上回った。
- 情報理工(120)**は、系統の高い人気に加えて、大阪いばらきキャンパスへの移転効果で、3年連続増加。方式別では、2月募集では<共テ・5教科型>(99)を除き増加、特に<共テ併用>(143)は前年度減少の反動で大幅増加、<共テ・7科目型>(122)は2年連続大幅増加、<共テ・3教科型>(122)は大幅増加。
- 薬(108)**は、3年連続増加。学科別では、2学科とも増加し、(創薬科学)(112)は前年度大幅減少の反動で増加。(薬)(106)はやや増加で3年連続増加、志願者数は6年ぶりに500人に達した。
- スポーツ健康科学(102)**は、新規に<共テ・3教科型>の導入により微増だが3年連続増加。しかし、この<共テ・3教科型>を除くと(71)の大幅減少。方式別では、2月募集は全て大幅減少で、前年度と逆の増減。特に、<共テ・7科目型>(56)は大幅減少で、志願者数は前年度は200人を上回ったが100人台に戻った。新規の<共テ・3教科型>の志願者数は294人で方式別では最多。
- 生命科学(100)**は、前年度並で志願者数は2年連続2,700人台。学科別では、増減が2学科ずつに分かれた。(生命医科学)(114)は前年度大幅増加に引き続き増加、(生命情報)(106)はやや増加で前年度激増に引き続き3年連続増加。一方で、(生理工)(92)は前年度激増の反動で減少、(応用化)(97)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 映像(115)**は、<共テ・7科目型>の新規導入に加えて大阪いばらきキャンパスへ移転効果で、大幅増加で2年連続増加。しかし、新規の<共テ・7科目型>を除くと(97)のやや減少。2月募集の方式別では、<共テ併用>(106)はやや増加。一方で、<共テ・5教科型>(92)は2年連続増加の反動で減少。なお、新規の<共テ・7科目型>の志願者数は105人だった。